

第30回春の縄文野焼き祭り
- 風のささやき 精霊たちの舞う春 -
【開催日】2020年4月26日(日)

早朝 縄文野焼きを開始する火おこし。今日は特別な縄文野焼き祭り。新型コロナウイルスの影響もあり猪風来美術館は休館中。一般参加者・見学者なしで、本当に限られたスタッフと協力者だけによる縄文野焼きなのです。そして猪風来美術館の陶芸指導者・縄文野焼きのリーダーでもあった縄文造形家・村上原野の急逝を追悼する縄文野焼きでもありました。スタッフ・協力者は県内と鳥取1人を加えて27名。ほとんどは猪風来美術館開館以来15年間のあいだに、館の活動に共感し心を寄せ、支えてくれてきた人たちです。

野炉の中の約100点の土器・土偶たち。力をあわせ協力して材木を運び配置していくスタッフの熱い思いと気迫、太陽と風と火の力により、やがて二つの野炉に真っ赤な炎が大きく立ち昇り、火の子宮の中から新しい命の器や造形作品が誕生しました！
大変な状況の中で集まってくれたスタッフ・協力者の皆様、そして諸事情で参加できなくて各地からエールを送ってくださった皆様ありがとうございました。

